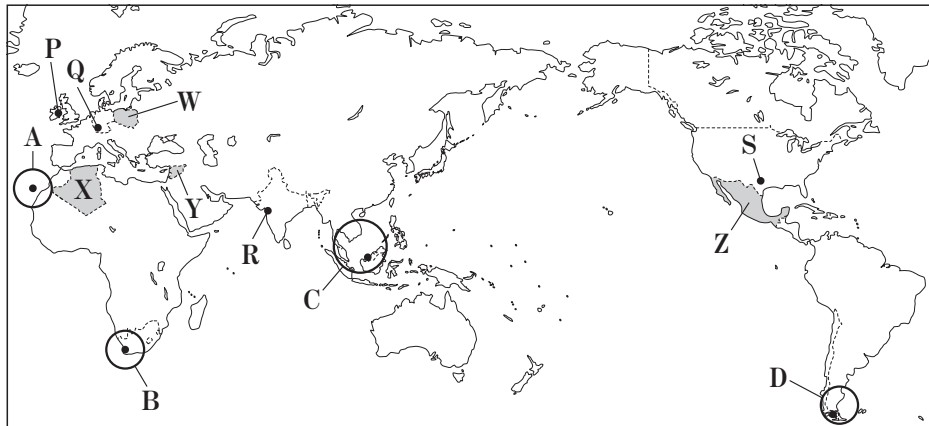


5 次の略地図を見て、あとの各問に答えよ。

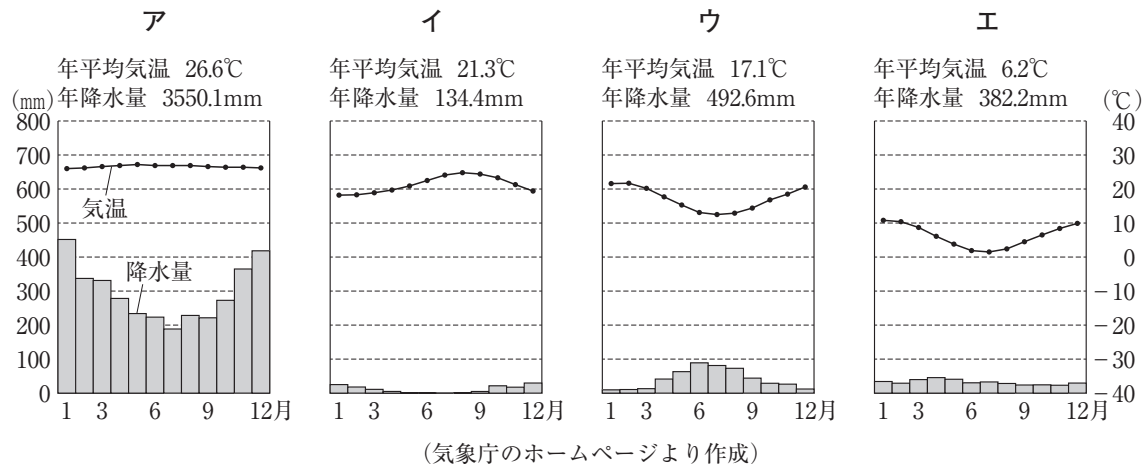


〔問 1〕 次の I の文章は、略地図中に○で示した A～D のいずれかの範囲の海域と都市の様子についてまとめたものである。II のア～エのグラフは、略地図中の A～D のいずれかの範囲内に●で示した都市の、年平均気温と年降水量及び各月の平均気温と降水量を示したものである。I の文章で述べている海域と都市に当てはまるのは、略地図中の A～D のうちのどれか、また、その範囲内に位置する都市のグラフに当てはまるのは、II のア～エのうちのどれか。

I

この海域には、16世紀に初めて世界一周を成功させた船隊の名前が残る海峡がある。強い風が吹きつける狭いフィヨルド状の水路は航行の難所であるが、パナマ運河ができるまでは大洋を結ぶ交通の要所であった。

II



略地図〔 〕 グラフ〔 〕

〔問 2〕 次の表のア～エは、ソフトウェア企業が位置する都市のうち、略地図中に P～S で示したいずれかの都市に位置する企業の、2018年におけるソフトウェアの売上高と様子についてまとめたものである。略地図中の P～S のそれぞれの都市に位置する企業に当てはまるのは、次の表のア～エのうちではどれか。

	売上高 (百万ドル)	企業の様子
ア	34850	もともとは他国の企業だが、税制の優遇などからこの地に本社を移転した。海に面した首都は情報通信事業を扱う大企業が集まり、「シリコン・ドックス」とも呼ばれる。
イ	33576	シリコンバレーから移転したものの、現在もサンベルトと呼ばれる地域に本社を置く。多くの企業を買収して世界市場におけるシェアを広げてきた。

ウ	17569	近年急速に情報通信技術産業が発展している国内においても、中心的な企業である。財閥のグループ会社で、ほかには紅茶や製鉄、小売など幅広い分野の会社がある。
エ	31869	立地する国が二酸化炭素の排出削減に取り組んでいることもあり、この企業もカーボンニュートラル宣言を行ったり、使い捨てプラスチックの利用を削減したりしている。

(「データブック オブ・ザ・ワールド」2025年版などより作成)

P〔 〕 Q〔 〕 R〔 〕 S〔 〕

〔問3〕 次のⅠとⅡの表の $\text{ア} \sim \text{エ}$ は、略地図中に  で示した $\text{W} \sim \text{Z}$ のいずれかの国に当てはまる。Ⅰの表は、1950年と2023年における総人口と年齢3区分別人口割合を示したものである。Ⅱの表は、1950–1955年と2020–2025年における出生数、死亡数、移民数を示したものである。Ⅲの文章は、略地図中の $\text{W} \sim \text{Z}$ のいずれかの国について述べたものである。Ⅲの文章で述べている国に当てはまるのは、略地図中の $\text{W} \sim \text{Z}$ のうちのどれか、また、ⅠとⅡの表の $\text{ア} \sim \text{エ}$ のうちのどれか。

		総人口 (千人)	年齢3区分別人口割合(%)		
			0 ～ 14歳	15 ～ 64歳	65歳以上
ア	1950年	27945	42.8	53.7	3.5
	2023年	129740	24.9	67.1	8.0
イ	1950年	3413	38.9	56.7	4.5
	2023年	23595	30.3	65.0	4.7
ウ	1950年	24824	29.4	65.4	5.2
	2023年	38763	15.1	65.3	19.6
エ	1950年	8872	40.6	55.8	3.5
	2023年	46164	30.6	63.0	6.4

		出生数(千人)	死亡数(千人)	移民数(千人)
ア	1950–1955年	7140	2502	– 232
	2020–2025年	10786	4160	– 275
イ	1950–1955年	931	363	– 70
	2020–2025年	2158	413	3816
ウ	1950–1955年	3862	1416	0
	2020–2025年	1725	2007	– 50
エ	1950–1955年	2338	1076	– 360
	2020–2025年	4667	1080	– 50

(Ⅰ、Ⅱとも国際連合ホームページより作成)

Ⅲ この国の総人口は、1950年から2023年にかけて4倍以上に増加し、しばらく増加すると予測される。銀や原油など鉱産資源が豊富だが、隣国への出稼ぎ者からの送金が最大の収入源である。隣国への移民は「ヒスパニック」とも呼ばれ、移民に関する対立も見られる。今後、この国から流出する移民の数は、70年前程度にまで落ち着くと見られる。

略地図〔 〕 表〔 〕

3

古代から人々は、森林で落ち葉や草木の若芽を採集し、田の中に踏み込んで腐らせた刈敷を肥料として使用してきた。⁽³⁾室町時代には山林は入会地として、惣（惣村）の厳しい管理の下に置かれた。戦国時代からは多くの城郭が建設され、木材の需要が一段と高まって各地の森林の伐採が進められた。⁽⁴⁾武家屋敷の建築や造船などに多くの木材を要した江戸幕府は、森林の保護に乗り出した。各藩も伐採を禁止する樹木の種類を指定し、この結果、⁽⁵⁾尾鷲ひのき、秋田すぎなどが各藩の特産として重要な財源となった。

エ メソポタミアで城壁に囲まれた巨大都市が出現した。この地域ではくさび形文字や青銅器が使用され、月の満ち欠けをもとにした太陰暦、60進法や1週間7曜制が考え出された。

$$\left[\quad \rightarrow \quad \rightarrow \quad \rightarrow \quad \right]$$

I	西暦	寺院建設や森林に関する主な出来事
577	●	くだら 百済から寺院建設の職人が招かれた。 ベクチュ ア
676	●	てんむ 天武天皇が畿内の草木採取と山林の伐採を禁止する命令を出した。 イ
713	●	ふうどき 「風土記」の編さん。 まつやに 松脂など様々な草木が薬用に使われていたことが記された。 ウ
866	●	ひたちのくに 常陸国の鹿島神宮を建設するため、 かしま すぎなどを植えた（記録に残る最古の植林）。 エ
955	●	あわのくに 阿波国の里浦海岸にくろまつ林を植えた（記録に残る最古の魚つき林）。 エ

遣隋使を派遣して中国の文化を取り入れ、仏教の普及に力をつくした人物により創建された。金堂には、創建者の等身像といわれる釈迦三尊像や、小さな仏像を納めるための玉虫厨子が置かれた。この寺院を含む地域の仏教建造物は、現在、ユネスコの世界文化遺産に登録されている。

$$[\quad]$$

〔問 3〕 (3) 室町時代には山林は入会地として、惣（惣村）の厳しい管理の下に置かれた。とあるが、Ⅰの地図は、室町時代に惣による自治の広まりを基に起こった土一揆の根拠地を示したものである。Ⅱの文章は、Ⅰの地図中に示された近江国で起こったある土一揆の様子について示したものである。Ⅰ・Ⅱから分かる、室町時代に近畿地方で生じた土一揆の特徴について、その目的や起こった地域に着目して、簡単に述べよ。

I

II

しょうちょう

正長元年9月、天下の土民が蜂起した。徳政といつて、高利貸の酒屋・土倉・寺院を破壊し、雑物等を勝手に略奪し、借金の借書等をすべて破り捨てた。管領がこれを成敗したが、国が滅びる原因となるものとして、これ以上のものはない。日本が始まって以来、土民が蜂起したのは、これが初めてである。

(「大乘院日記目録」より一部要約)

〔問 4〕 (4) 武家屋敷の建築や造船などに多くの木材を要した江戸幕府は、森林の保護に乗り出した。とあるが、次の略年表は、江戸時代の江戸の町づくりや海上交通についてまとめたものである。略年表中のA～Dのそれぞれの時期に当てはまるのは、下のア～エのうちではどれか。

西暦	江戸の町づくりや海上交通に関する主な出来事
1590	●豊臣秀吉の全国統一にともない、徳川家康が江戸に領地を与えられた。……………
1619	●江戸と大阪などを結ぶ菱垣廻船が就航した。……………
1672	●商人の河村瑞賢により西廻り航路が開かれた。……………
1716	●享保年間が始まった。このころ江戸の人口が100万人を超えた。……………
1730	●酒を専門に運ぶ樽廻船が就航した。……………

- ア 徳川吉宗が将軍のとき、庶民の意見を政治に取り入れるため目安箱が設置された。
- イ 徳川秀忠が将軍のとき、全国にわたる禁教令が出され、宣教師を国外へ追放するなどした。
- ウ 将軍徳川綱吉は財政難を切りぬけるため、金貨・銀貨の質を落として多量に発行した。この結果、物価が上昇した。
- エ 徳川家光が将軍のとき参勤交代の制度が設けられ、大名は妻子を江戸に移したうえで、大名自身は1年おきに江戸と領地に交互に住むように定められた。

A [] B [] C [] D []

7 次の文章を読み、あとの各問に答えよ。

現代では、⁽¹⁾貿易が盛んになり、たくさんの人やものなどが国境を越えて移動し、グローバル化が進んでいる。グローバル化が進み生活が便利になる一方で、⁽²⁾地球環境問題のように、各国が協力して取り組むべき国際問題も増えている。例えば、⁽³⁾G20サミットでは、NIESやBRICSのように急速に経済成長する新興国などの12か国が加わり、G7とともに経済問題の解決に向けて話し合いを重ねている。このように、⁽⁴⁾より多くの国が話し合い、協力してよりよい国際社会を築くことが大切である。

〔問1〕 ⁽¹⁾貿易が盛んになり、たくさんの人やものなどが国境を越えて移動し、グローバル化が進んでいる。

とあるが、次のⅠの表は、X国とY国において商品Aと商品Bが生産される場合、国際分業を行わない場合と、国際分業を行う場合の生産と貿易の様子を比べたものである。Ⅱの文章は、Ⅰの表を基に、各国で商品を生産するのに要する労働力についてまとめたものである。「国際社会全体の生産量に着目すると、国際分業を行った方がよ

い」という仮説を立てることができる理由に当てはまるのは、次のア～エのうちではどれか(なお、ここでは価格など、示されていない条件は考えないものとする)。

Ⅰ 国際分業を行わない場合

	商品A	商品B
X国	10人で生産	20人で生産
Y国	20人で生産	10人で生産

国際分業を行う場合

	商品A	商品B
X国	30人で生産	Y国から輸入
Y国	X国から輸入	30人で生産

Ⅱ

- X国では、商品Aを1つ生産するのに10人、商品Bを1つ生産するのに20人必要である。
- Y国では、商品Aを1つ生産するのに20人、商品Bを1つ生産するのに10人必要である。

ア 国際分業を行うと、商品Aの全体での生産量は、国際分業を行わない場合の1.5倍に、商品Bの全体での生産量は3倍に増えるから。

イ 国際分業を行うと、商品Aと商品Bの全体での生産量はともに、国際分業を行わない場合の1.5倍に増えるから。

ウ 国際分業を行うと、商品Aの全体での生産量は、国際分業を行わない場合の3倍に、商品Bの全体での生産量は1.5倍に増えるから。

エ 国際分業を行うと、商品Aと商品Bの全体での生産量はともに変わらないが、X国とY国の貿易収支がともに黒字となるから。

〔 〕

〔問2〕 ⁽²⁾地球環境問題のように、各国が協力して取り組むべき国際問題も増えている。とあるが、地球環境問題を解決するための国際的な取り組みの説明として正しいのは、次のア～エのうちではどれか。

ア 1992年には国連環境開発会議(地球サミット)が開かれ、「持続可能な開発に関するヨハネスブルグ宣言」が採択された。

イ 1997年には地球温暖化防止京都議定書が開かれ、アメリカや中国も含めて参加する全ての国に二酸化炭素排出量の削減を義務づけた。

ウ 2002年には持続可能な開発に関する世界首脳会議(環境・開発サミット)が開かれ、地球温暖化防止を目的とする気候変動枠組条約が初めて結ばれた。

エ 2015年には国連気候変動枠組条約締約国会議(COP21)が開かれ、パリ協定が採択された。

〔 〕

〔問3〕 (3) G20サミットでは、NIESやBRICSのように急速に経済成長する新興国などの12か国が加わり、G7とともに経済問題の解決に向けて話し合いを重ねている。とあるが、次のⅠの地図は、G20サミット参加国・地域のうち、EU・AUを除く国の位置を で示したものである。Ⅱの地図は、2023年における、GDPの多い国20か国を で示したものである。Ⅰ、Ⅱの地図に見られる共通点について、簡単に述べよ。

Ⅰ



Ⅱ



(外務省「主要経済指標2025」より作成)

〔問4〕 (4) より多くの国が話し合い、協力してよりよい国際社会を築くことが大切である。とあるが、次のⅠの文章は、ある時期における日本の国際貢献の動きについてまとめたものである。Ⅱの略年表は、1980年以降の世界の主な出来事についてまとめたものである。Ⅲのグラフは、1980年から2023年までの、世界の難民数の推移を示したものである。Ⅰの動きが見られた時期に当てはまるのは、Ⅱの略年表中の **ア**～**エ**の時期のうちではどれか。

Ⅰ

○中東で湾岸戦争が起こった際、日本は約135億ドルの資金援助を行ったが、多国籍軍に自衛隊を派遣することはなかった。このため、国際的に批判を浴びた。

○日本は人的な国際貢献を果たすことを目的として、国際平和協力法(PKO協力法)を制定し、国連PKO活動の一環として自衛隊が海外へ派遣されるようになった。

Ⅱ

西暦	世界の主な出来事
1980	●イラン・イラク戦争が始まった。 ア
1986	●チェルノブイリ原子力発電所事故が起こった。 イ
1990	●東西ドイツが統一された。 ウ
2001	●アメリカ同時多発テロが起こった。 エ
2011	●シリア内戦が始まった。 ↓
2022	●ロシアのウクライナ侵攻が始まった。

Ⅲ

